学校番号	1206

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）日本史研究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自校作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

画像・映像などの「視聴覚教材」を使った学習も可能な限り導入し、歴史への関心を高め、各時代の特徴や到達点への理解を深めさせる。また、時間的に余裕があれば、地域史等身近な題材を取り上げることで、自身の目で歴史を見て、主体的に考える力を育成する。

2　学習の到達目標

知識及び技能】
知識・技術　前近代の日本の歴史の展開について、諸資料や地理的要因、世界の歴史と関連させて総合的に認識させる。
【思考力、判断力、表現力等】
思考・判断・表現　さまざまな歴史的事象を通して、歴史的思考力を培う。
【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史への理解を深め、平和と民主主義を実現していく、主体的な国民としての教養と態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	前近代の日本の歴史の展開が、諸史料や地理的要因、世界の歴史と関連させて総合的に理解できる。	各時代の特色に関して、興味関心を持ち、積極的に情報収集し、理解するための思考力・判断力を身につける。	日本の歴史への理解を深め、平和と民主主義を実現していく、主体的な国民としての教養と態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4・5月	国家と文化の形成	・縄文文化の特色や日本人の起源 ・弥生文化の特色と小国家の形成 ・古墳時代の政治と文化	a:先史社会の展開から古代への時代の転換が理解できる。 b:先史社会の特色について多面的・多角的に考察することができる。 c:先史・古代の日本と東アジアに関わる諸事象について、課題を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	プリント 討論・発表 学習の振り返り
6・7月	古代国家の確立	・飛鳥時代の政治と文化 ・律令国家の形成過程と律令制の特徴 ・奈良時代の政治と文化 ・摂関政治と貴族文化	a:律令体制や古代の社会と文化の変容が理解できる。 b:古代の国家・社会の変容について事象の意味や関係性などを多面的・多角的に考察することができる。 c:古代国家の社会と文化について、課題を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	プリント 討論・発表 学習の振り返り
8・9月	中世社会の成立	・武士の社会進出と平氏政権の誕生 ・鎌倉幕府の支配のしくみ ・モンゴル襲来と社会の変化、室町幕府の成立	a:古代から中世への時代の転換が理解できる。 b:中世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現することができる。 c:中世の日本と世界に関わる諸事象について学習に取り組み課題を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	プリント 討論・発表 学習の振り返り
	中世社会の展開	・武家政権の伸張、社会や文化の特色 ・戦国大名の分国支配と都市の発達	a:戦国時代の社会と文化の特色が理解できる。 b:戦国大名の分国統治などの課題について、地域の多様性などに着目して考察することができる。 c:戦国大名の分国支配と都市の発達について学び、課題を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	プリント 討論・発表 学習の振り返り

11 1 2 月	統一政権の成立	・織豊政権の成立と展開 ・安土桃山時代から江戸時代かけての文化の特色 ・江戸幕府の支配のしくみ	a:中世から近世への時代の転換が理解できる。 b:中世から近世への時代の転換に着目し、近世の特色について多面的・多角的に考察することができる。 c:近世の日本と世界に関わる諸事象について学び、課題を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	プリント 討論・発表 学習の振り返り
1 ・ 2 月	幕藩体制の展開と動揺	・江戸時代の大坂と産業の発達 ・幕藩体制の変容 ・対外関係の変容と開国、幕藩体制の崩壊	a:近世の社会と文化、幕藩体制の変容が理解できる。 b:幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色について多面的・多角的に考察することができる。 c:近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について学び、課題を追究しようとしている。	定期考査	定期考査 プリント	プリント 討論・発表 学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度